

令和3年度 実績報告

浜松聖星高等学校

1 全般状況

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年であった。

ICTの定着が進み、授業での電子黒板の使用やリモートによる集会の実施などが定着した。

2 事業概要

(1) 定員、生徒数、教職員数等

ア 入学定員等

普通課程 修行年限 3年

入学定員 175名(3年)200名(1・2年)

イ 生徒数(令和4年3月31日現在)

学年	募集人数	在籍生徒数	備考
1年	200	239	令和3年度入学生(共学化5年目)
2年	200	174	令和2年度入学生(共学化4年目)
3年	175	204	平成31年度入学生(共学化3年目)
合計	575	617	

ウ 教職員数(令和4年3月31日現在)

校長1 教頭2 教諭25 養護教諭1 常勤講師6 事務職員6 (計41名)

非常勤講師15 非常勤カウンセラー1 非常勤職員3 司書1 (計20名)

総計 61名

(2) 募集活動

《令和4年度入試結果》

- ・受験者内訳 男子 164名 女子 427名
- ・入学者内訳 男子 65名 女子 158名 国際教養コース 154名 国際特進コース 69名
- ・夏のオープンスクール第1回は235名の参加、
第2回はリモート実施となり276名の申し込みがあった。
- ・秋のオープンスクール第1回では授業見学の形式を取り、220名が参加、
第2回は部活動見学を行い、225名の参加があった。
- ・入試説明会には第1回に193名、第2回に215名の参加があった。
- ・中学校へ出向いての出張授業、学校説明なども多数行った。

(3) 学校評価

関係者の協力を得て、様々な貴重な意見を頂いた。

学校関係者評価は、保護者アンケートと共にホームページ上に公開する。

(4) 学習指導 進路指導

- ア 夏期補講は7月21日～29日(前期)、7月30日～8月5日(中期)、8月16日～20日(後期)
合計28講座(3年16/2年4/1年6/学年共通2)に、のべ761人が参加。(1年297/2年182/3年282)
- イ 8月30日から9月12日まで静岡県下の緊急事態宣言発出に伴い、時差登校、分散授業を実施。
- ウ 分散登校では、各クラスを2グループに分け、登校での対面授業、自宅でのリモート授業を交互に行うハイブリッド形式をとった。
- エ 9月13日以降緊急事態宣言延長のため分散登校を18日まで延長。21日からは全員登校とし、40分の短縮授業をおこなった。
- オ 9月末の緊急事態宣言解除に伴い、10月4日より通常授業を再開。
- カ 進学については従来通り学校推薦型選抜や総合型選抜を経て進学するものが多いが、徐々に一般入試の受験者が増える傾向にある。
- キ 就職希望者は8名。全員が内定を得て卒業した。

(5) 教育課程

2022年からの新学習指導要領に則った新カリキュラムの編成を検討した。

(6) 奉仕活動

- ア 新型コロナウイルス感染症の影響で、末広会の施設訪問の再開の目処が立たず、校内での活動にとどまった。
- イ あしなが学生募金も実施が見送られ、1年生全員が募金活動に参加という長年掲げてきた目標が達成できなかった。

(7) 国際交流

- ア 4月当初、留学先の各国が新型コロナウイルス感染症の影響で留学を受け入れていなかったため、留学期間の短縮を余儀なくされた。7月から12月まで6名の生徒がカナダ、バンクーバー島へ留学した。
- イ アメリカ研修は中止。
- ウ 1年特進コース対象のエンパワーメントプログラムは、国内に留学中の学生を招いて予定通り行われた。

(8) 部活動

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で多くの大会が中止となったが、今までにない分野に挑戦する部活動もあった。
- ・放送部は第68回NHK杯全国高校放送コンテストに出場し、創作ラジオドラマ部門において制作奨励賞を受賞。竹内菜摘は第68回NHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門 出場。また第45回全国高等学校総合文化祭の国わかやま総文2021 朗読部門において審査員特別賞を受賞。
- ・情報処理部はソフトバンクロボティクス主催のPepperプログラミングコンテストにおいて2年連続、全国大会出場。また、多くの検定合格の実績を残した。
- ・サイエンス部が第5期Girl's Rocketry Challengeに参加。第39回モデルロケット全国大会に出場。
- ・吹奏楽部は第69回全日本吹奏楽コンクールで銀賞を受賞。

- ・陸上部は女子4×400mリレー、女子4×100mリレーで第64回東海陸上競技選手権大会に出場。他に、赤坂彌羽が女子400m、濱口時瑛が男子走高跳に出場。池谷星来は第24回東海高等学校新人陸上競技選手権大会に女子やり投げで出場した。

(9) 学校行事

- ア 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、様々な行事を縮小の形で行うことになった。
- イ 入学式、卒業式は来賓を招かず、生徒・保護者・教職員でおこなった。
- ウ ベリタスプラザは一般公開をせず、生徒・職員のみでの参加で行った。
- エ 体育祭は練習時の密を避けるため、応援合戦を中止。観覧席の密を避けるため、会場を四ツ池競技場に移して、半日で実施した。保護者の見学は遠慮してもらったため、昨年につき、競技の様子を撮影し、後日You Tubeで配信した。
- オ 遠足は県外を避け、県内の見学地に変更して実施した。
- カ 授業参観など大人数の外来者がある行事は中止となったが、マリア祭、物故者追悼式などの宗教行事は会場に集まる生徒の数を減らし、リモート配信をするなどして実施した。
- キ 修学旅行はシンガポール、沖縄をキャンセルし、山梨、長野に研修先を変更して実施した。
- ク スポーツデイはほぼ通常の様で行った。
- ケ 「クリスマスツリーの下で」はポスターなどでの宣伝は行わなかったが、近隣の方々にもおいで頂いて実施した。
- コ ステラサンクタクリスマスは席数を減じて一般公開を行い、生徒も半数ずつ二回に分けて鑑賞した。
- サ マラソン大会は、エコパでの実施を見送り、校内で授業時間内に実施した。
- シ 「三年生を送る会」は新型コロナウイルス感染症の再流行によって、中止とした。

(10) その他

- 新型コロナウイルス感染防止のため、黙食が奨励され、教員が昼食時に教室を見回るなどの措置が取られた。